

# 社会科学学習指導案

日 時 平成 17 年 9 月 28 日(水)  
場 所 花巻市立花巻北中学校  
学 級 2 年 4 組(男子 16 名女子 16 名計 32 名)  
授業者 教諭 野口 貴弘

1 単元名 第 4 章 「世界と日本の暮らしと文化」 3 人々の暮らしと宗教  
地理 地域にまなぶ(教育出版 P 200~203)

2 単元について

(1) 教材観

本単元は学習指導要領では世界的視野から見て、日本においては比較のものの豊かな中で人々が暮らしていること、また、近代化や国際化の進展などにより伝統的な生活・文化は変容していること、外国から入ってきた生活・文化は日本の環境条件に対応させて取り入れてきたことといった特色を理解させるとともに、国内では生活・文化の地域による差異が次第に無くなりつつあるが、一方で各地に特色ある生活・文化が見られることを大観させることをねらいとしている。

学習においては、生活・文化の面からわが国の地域的特色を世界と比較し関連付けて追究していけるように展開していくことが大切であると考えている。そうした中からわが日本の特色が浮かび上がってくるとことをとらえさせたい。

(2) 生徒観

男子は積極的に反応する生徒が多い。女子はおとなしいが作業学習などは丁寧に行う。双方の共通点は、表面的な考え方にとどまり物事を深く追究しようとしめない傾向がある。また、資料の読み取りを苦手とする生徒が多い。しかし夏休みの新聞レポートなどはほとんど全員出すことができ、日々の出来事には興味を持っているようである。

また、日本や世界の生活・文化についての生徒の関心は比較的高い。自分たちの生活と結びつきが強く、身近で具体的な教材とかかわらせることにより、常に課題意識を持ち続け、意欲的に学習に取り組もうとする生徒を育てていきたい。

(3) 指導観

本単元は世界と日本、日本と地域を比較しながら世界から見た日本、日本の中でも特色のある地域を理解させるように展開していく。多種多様な文化が世界・日本に存在していることにも気づかせたい。そのために資料を読み取らせる時間をしっかり設けるようにする。

また、生活・文化を扱う際、大事なことはそれぞれの地域の生活や文化に優劣をつけないことである。そこにあるのは「ちがひ」であり、「ちがひにこそ価値」があり、「豊かさ」があることを認識させたい。あわせて、それぞれの地域の「生活・文化」にもとづく伝統や習慣であっても、それが人権や平和を侵すものであってはならないこともおさえさせたい。

3 単元の目標

- (1) 日本の生活・文化の特色を明らかにするため食生活の変化や住宅環境の変化、習慣の変化などの様子を積極的に調べることができる。また、岩手・沖縄を比較したり関連付けて調べることができる。 【関心・意欲・態度】
- (2) 日本の生活・文化の特色を衣食住生活の変化や習俗・習慣などの視点から明らかにする方法を考察し、適切に選択することができる。 【思考・判断】
- (3) 日本の生活・文化を明らかにするために多様な資料を読み取り、グラフなどを用いてまとめることができる。また、岩手・沖縄を比較したり、関連付けてたりして調べた内容をわかりやすく説明することができる。 【技能・表現】
- (4) 日本の生活・文化を諸外国と比較したり、近代化や国際化の視点から理解できる。また、衣食住の生活の変化や習俗・習慣の変化などの視点から明らかにする方法を理解できる。 【知識・理解】

4 単元の指導計画・評価計画(7時間扱い)

時	学習内容	評価規準			
		関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
1	日本の暮らし再発見	日本の暮らしとサモアの人々の持ち物の違いを読み取るようとしている。			外国人から見ると文化の違いがあることを理解する。
2	いろいろな人々の暮らし	世界各地の衣食住についてテーマをもとに追究しようとしている。			衣食住を中心とする世界各地の生活文化について理解している。
3 4	人々の暮らしと宗教 (本時1/2)	外国人と日本人の宗教観の違いについて進んで考えようとしている。		イスラム教、日本の年中行事の資料から、生活との結びつきの違いについてまとめることができる。	生活と宗教との関係から日本の社会の特徴について理解している。
5	人々の暮らしと言葉		複数の言語を使用している国と日本を比較し、その違いを考えることができる。	世界各地の言語の特徴や日本語の特徴について調べることができる。	
6	ところ変われば品変わる	日本各地の生活文化の違いや背景を追究しようとしている。		日本各地の食生活や言語生活についてまとめることができる。	
7	沖縄の人々と文化		沖縄の文化がどのように変化してきたのかを与えられた事例をもとに考えることができる。		歴史的背景、自然環境から生まれた文化に関心を持ち、事例ひとつについて基本的な知識を身につける。

5 本時の学習

(1) 授業の構想

導入部分では、漫画の吹き出しにどのような言葉が入るか考えさせ世界の人から見た日本人の宗教観の不思議さに気づかせる。

展開の前半では、資料から世界の宗教について興味を持って調べさせたい。

展開の後半では、日本と世界の宗教観の「違い」をとらえさせたい。

まとめでは、調べた内容がマクドナルドのメニューにまで影響を与えていることやこれから国際人として生きていく中で知識として覚えておいて欲しい事などにも触れたい。

(2) 目標(評価規準と具体的評価基準)

評価規準	具体的評価基準		「努力を要する」生徒への支援
	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	
【興味・関心・態度】 外国人と日本人の宗教観の違いについて進んで考えようとしている。 (発言、プリント)	宗教観の違いについて、自分の考えをプリントに記入し、理由を添えて発言することができる。	宗教観の違いについて、自分の考えをプリントに記入することができる。	感じたことや思ったことを書くように指示する。
【技能・表現】 イスラム教と日本の年中行事の資料から、生活との結びつきの違いについてまとめることができる。(発言、プリント)	資料を読み取り、生活との結びつきの違いについて比較し、分かったことをプリントにまとめ発表することができる。	資料を読み取り、結びつきの違いについて分かったことをプリントにまとめて書くことができる。	机間巡視し、ポイントとなる視点を与える。

(3) 展開

段階	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価
導入 5分	<p>1 外国人から見た日本人の宗教観について考える。(予想)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人が日本人の宗教観を不思議に思う漫画の吹き出しに入る言葉を考え、記入する。</li> </ul> <p>2 学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">           学習課題            「なぜ外国人は不思議に思うのだろうか」         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>なぜ外国人が不思議に思うのかを考えさせたい。</li> <li>正解を確認し、学習に対する関心を高める。</li> <li>世界と日本の宗教について学習することについて触れる。</li> </ul>	<p>【興味・関心・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 自分の考えをプリントに記入できたか。(プリント)</li> <li>* 支援 簡単な表現で書くように指示する。</li> </ul>
展開 35分	<p>3 宗教分布を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キリスト教、イスラム教、ヒンズー教、仏教について確かめる。</li> </ul> <p>4 イスラム教と日本の年中行事について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イスラム教についての慣習などを載せた資料、日本の年中行事などを載せた資料から、二つを比較し、生活との結びつきの違いについて考える。</li> </ul> <p>5 発表し、検証する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>違いについて発表する。</li> <li>自分の考えと他者の考えを比較する。</li> <li>他の宗教について確かめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書でどのあたりに分布しているか大観させる。</li> <li>なるべく衣食住にかかわる全般を載せたプリントを作成し多岐にわたっていることに気づかせたい。</li> </ul>	<p>【技能・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 資料を読み取りプリントに自分の考えを書くことができたか。</li> <li>* 支援 ポイントとなる視点を与える。</li> </ul>
終末 10分	<p>6 世界と日本の宗教観についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>宗教は生活と結びついていること。</li> <li>日本は多くの宗教をうまく取り入れていること。</li> <li>違いは尊重されるべきであること。</li> </ul> <p>7 これからの生活に役立つことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インドのマクドナルドのメニューの例やこれから旅行に出かけたときなど知識として覚えておいたほうがよいことなど考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれ国によって違いがあり尊重すべきであることにふれる。</li> <li>なぜ外国人が不思議に思うかについておさえる。</li> <li>実際、食生活の違いが経営に変化を与えていることやしきたりなどを覚えていたほうが役に立つことにも触れたい。</li> </ul>	